

製品に対する環境配慮



諸角 榮一

(株)山武 環境安全推進室 マネージャー
 「製品開発、環境マネジメントシステム運営、事業での全環境活動は『地球環境を配慮した持続可能社会のグランドデザイン』に通じます。」

山武グループの環境配慮製品開発についての考え方(環境配慮製品開発指針)

新製品開発において「環境設計アセスメント」を実施しています。設計から廃棄に至る製品ライフサイクルのすべての段階での環境負荷を考慮し、環境設計開発指針に沿った製品開発を積極的に進めています。

環境配慮製品の開発指針:

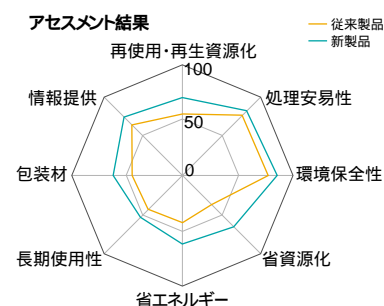
すべての新規開発製品を対象に、省エネルギー、省資源、再使用・再生資源化、長期使用性、包装材のリサイクル、処理容易性、環境保全性などの項目を評価しています。総合的な地球環境への負荷を従来製品よりも減らす開発を行わなければなりません。

また、環境配慮製品設計指針を定め、

山武グループ独自の環境ラベルを表示しています。

環境設計アセスメント結果:

環境設計アセスメントの2001年度の総合結果では、総合で16%の改善が図られました。特に、省資源化においては28%、省エネルギーでは19%改善しました。



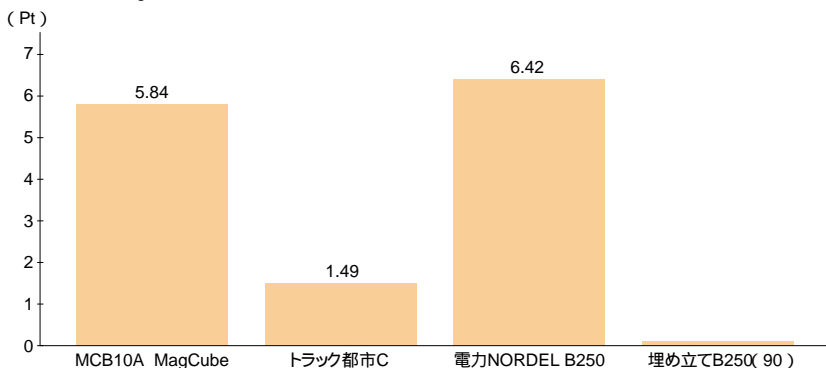
LCAによる製品評価

環境に配慮した製品開発促進のためLCAを用いています。1999年の調査開始以降、順次、LCA評価の対象製品を拡大してきました。

2001年度は、オランダPre-Consultant社のLCAソフトSima-Pro V5にて製品を分析しました。従来の「エコ・インジケータ95」分析手法に加えて、エンド・ポイント型環境インパクト分析手法といわれる「エコ・インジケータ99」によるLCA分析を新たに導入しました。

電磁流量計MagCube(MCB 10A)にLCA分析を適用した事例を紹介します。

電磁流量計MagCube(MCB 10A)のライフサイクル全段階のエコ・インジケータ99手法による分析結果



LCAのフロー



環境ラベル

2001年4月から環境ラベル認証制度を導入し、お客さまへ環境情報を積極的に公開してきました。環境設計アセスメント評価の結果、総合改善度10%以上の環境設計優秀製品に環境ラベルタイプ(ISO14021に準拠した自己宣言型環境適合ラベル)を表示しています。



ネットワーク・ビルディング・オートメーションシステム savic-net EV model1Q(壁掛け一体型)は認証を受けた製品の一例です。



山武グループの環境ラベル適合判断基準(抜粋)

1. 環境設計アセスメントを実施していること。
2. 製品開発の重点指針に示す7項目のうち、1項目以上を30%以上改善し、総合評価がプラスであること。または、総合評価で改善率が10%以上であること。